

科目番号	65	科目名	衛生学(公衆衛生含む)(V)	
英文科目名	Public Health (V)			
大学・短期大学名	立命館大学			
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担当教員	金森 雅夫 (スポーツ健康科学 学部 教授)			
教室名	ローニングハウスI 203/Web(manaba+R)	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授業期間	2021年9月30日(木)～2022年1月13日(木) <毎週木曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		40	%
	平常点(出席・授業態度)		60	%
	その他()			%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業実施形態】				
<ul style="list-style-type: none"> ・第1回はWebにて行う。 ・第2回～15回までを対面講義とする。 ・事情により、対面での出席ができない学生のために、Zoomによる同時配信を行う。 (第2回目以降、対面での出席ができない場合は、第1回目の授業内及びmanaba+R上のサイトで担当科目教員への連絡先を指示するので、各自事前に連絡を取ること。) 				
【授業の概要と方法】				
人間を取りまく環境因子と健康の関連を探求し、病気や死因の構造、疾病リスクと予防医学、疫学の方法について学習する。健康問題を単に個人の問題として捉えるのではなく、集団、社会における問題として理解し、分析する能力を養う。衛生に関する現代の課題を理解し、問題解決に向けた危機管理、国際保健の重要性を知る。				
【受講生の到達目標】				
<ol style="list-style-type: none"> ①環境(気候変動)と健康の関係が理解できる。 ②予防および疫学とその方法について説明ができる。 ③衛生の動向およびリスクファクターについて説明できる。 ④健康日本21および健康づくりのための運動、身体活動基準について説明できる。 ⑤衛生に関する現代の課題を理解し、問題解決に向けた持続可能な社会(SDGs)の目標、国際保健の重要性を知る。 				
【成績評価方法】				
<ul style="list-style-type: none"> ・レポート試験: 40%(学修した日本の衛生・公衆衛生上の課題について、科学的根拠に基づいて論説し、考察する能力を評価する。) ・日常的な授業における取組状況の評価: 60%(授業は各回の小テストによる理解度による評価。テーマに対しての「小レポート」作成による評価を行う。) 				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	9月30日	社会と健康 健康の概念 公衆衛生の概念
2	10月7日	疫学・統計(1) 衛生統計資料
3	10月14日	疫学・統計(2) 疫学調査の方法
4	10月21日	ライフスタイルの現状と対策(1) 身体活動・運動
5	10月28日	ライフスタイルの現状と対策(2) ー生活環境と健康 たばこの害 禁煙
6	11月4日	ライフスタイルの現状と対策(3) ー生活環境と健康 飲酒 多量飲酒の害
7	11月11日	環境と健康影響
8	11月18日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(1)
9	11月25日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(2)
10	12月2日	発育・発達 成長 (1) 母子保健
11	12月9日	発育・発達 成長 (2) 小児・学校保健
12	12月16日	持続可能な社会(SDGs)と健康(1) 地球環境・気候変動と健康
13	12月23日	持続可能な社会(SDGs)と健康(2) 健康格差・貧困と健康
14	1月6日	持続可能な社会(SDGs)と健康(3) Withコロナ社会と超高齢社会と認知症対策
15	1月13日	Withコロナ社会で健康寿命をのばすには？

<教科書・参考書>**【参考書】**

- ・『社会・環境と健康』田中平三/徳留信寛/辻一郎/吉池信男(南江堂 978-4-524-26893-1)
- ・『国民衛生の動向』(厚生統計協会)
- ・『認知症の看護』鈴木みずえ(南江堂 978-4-524-25514-6)